

**NETIS 登録技術** 国土交通省が運用する新技術情報提供システム「NETIS」に登録された新技術。

# グリーンインプールDF+ブラスコンM液剤(ホルモン剤) による特定外来生物(植物)の除草技術

広葉雑草をきっちり抑え、イネ科植物へ植生転換する。

**グリーンインプール<sup>®</sup>DF**

+

植物ホルモン作用を示す選択性除草剤。

**ブラスコン<sup>®</sup>M液剤**



特定外来生物(広葉植物)の除草

オオキンケイギク

アレチウリ

写真 / 環境省 提供

省力的な緑地管理へ

『道路』『堤防』『公園』など 『芝地』でも 使用可能

イネ科植物への  
植生転換

法面の緑地管理に

景観の維持に

## NETISとは

国土交通省が運営している新技術情報提供システムです。このシステムは、新技術の活用を促進するために、新技術に関する情報を共有・提供するデータベースです。インターネットを通じて、これらの技術情報を誰でも容易に入手することが可能です。

## NETIS 登録技術

『グリーンインプールDF+プラスコンM液剤(ホルモン剤)』を体系的に使用することで、特定外来生物(植物)および広葉雑草を省力的に防除すると共に、イネ科主体の植生に植生転換することで、省力的な植生管理を実現することが可能な新技術です。

### ●グリーンインプールDF+プラスコンM液剤を体系的に使用

#### グリーンインプール<sup>DF</sup> + プラスコン<sup>M</sup>液剤

- ・雑草発生前～雑草生育始期に効果を示す緑地管理用除草剤。
- ・雑草の種類を選択して防除できる選択性除草剤のため、広葉雑草を抑えイネ科植生へ植生転換することが可能。
- ・一年生～多年生まで広範囲の広葉雑草(生育期)の茎葉部から吸収されて、選択的に効果を発揮する。

### ●イネ科植生への転換

雑多な雑草地



- ・管理が困難
- ・視認性の低下
- ・不法投棄リスク
- ・景観の劣化
- ・鳥獣・害虫の住処

イネ科で揃った植生



- ・管理の省力化
- ・法面強度の維持
- ・景観の向上

## 新技術による緑地管理のメリット

### ●生物多様性保全

- ・特定外来生物(植物)の除草により在来種の生息を促進できる。

### ●生活環境改善

- ・イネ科植生に転換することで、景観改善が期待できる。
- ・大型広葉雑草が無くなることで、害獣の住処になるリスクや、不法投棄・枯草による火災のリスクの回避が期待できる。

### ●雑草管理の省力化・効率化

- ・比較的管理がしやすいイネ科植生に転換されることで、雑草管理の省力化が期待できる。
- ・法面を裸地化しないため、法面崩壊のリスクも低い。

## 従来技術(肩掛け式エンジン刈払機)との比較

- ・飛び石、熱中症等の危険リスク回避により安全性が向上。
- ・作業人員の削減と作業時間が短縮。
- ・刈草の搬出・処分が削減。
- ・経済性の向上。

※基準単位：1,000 m<sup>2</sup>

工 程	《新技術》 <b>0.26日</b> (0.13日×2回)	《従来技術》 <b>1.8日</b> (0.9日×2回)	《向上の程度》 <b>↑85.56% 向上</b>
	《新技術》 <b>40,462円</b> (20,231円×2回)	《従来技術》 <b>176,507.4円</b> (88,253.7円×2回)	《向上の程度》 <b>↑77.08% 向上</b>

※参考：令和6年度公共工事設計労務単価(令和6年3月東京都)・改定5版 公園・緑地の維持管理と積算(平成29年7月)・建設機械等損料表(令和6年度版)



【新技術】動力散布機を使用



【従来技術】肩掛け式エンジン刈払機を使用

詳細については NETIS(新技術情報提供システム)の掲載ページをご覧ください。

《NETIS 掲載ページ》



# 使用事例

## ●緑地法面におけるナルトサワギクの除草～法面緑地管理

特定外来生物であるナルトサワギクを防除



散布日：2020年11月12日  
最終調査日：2021年6月10日

**【散布設計】**

グリーンインプール DF … 0.05g/㎡  
プラスコン M 液剤 …… 2.0ml/㎡  
展着剤・飛散防止剤 混用  
散布水量：200ml/㎡



雑草管理の省力化・生物多様性保全に貢献

## ●アレチウリの除草～イネ科植生への転換

特定外来生物であるアレチウリを防除してイネ科植生に転換



散布日：2020年9月30日  
最終調査日：2020年11月9日

**【散布設計】**

グリーンインプール DF … 0.05g/㎡  
プラスコン M 液剤 …… 2.0ml/㎡  
展着剤混用  
散布水量：200ml/㎡

雑草管理の省力化・生物多様性保全に貢献

※生育中のアレチウリの草刈り時には、下にスズメバチの巣がある可能性が有り十分な注意が必要。

## ●オオブタクサの除草～イネ科植生への転換

要注意外来生物であるオオブタクサを防除してエノコログサ・クサヨシ等の在来のイネ科植生に転換



散布日：2023年4月21日  
2023年7月12日  
調査日：2023年8月9日

**【散布設計】**

グリーンインプール DF … 0.05g/㎡  
プラスコン M 液剤 …… 2.0ml/㎡  
散布水量 …… 200ml/㎡

雑草管理の省力化・生物多様性保全に貢献

※試験区外は草刈り実施

# 新技術の活用方法

写真/環境省 提供

目的	時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
<b>オオキンケイギクの除草</b> 	生育時期	ロゼット越冬					生育時期							
	散布時期				散布時期									
<b>ナルトサワギクの除草</b> 	生育時期	生育時期												
	散布時期				散布時期									
<b>オオハンゴンソウの除草</b> 	生育時期	ロゼット越冬			生育時期									
	散布時期				散布時期									
<b>アレチウリの除草</b> 	生育時期	生育時期							開花期		種子形成期			
	散布時期				散布時期									
<b>広葉雑草の除草</b> ~イネ科植生での省力管理	生育時期	生育時期												
	散布時期				散布時期									

※地域や草種により有効な散布時期は異なりますので、スケジュールを参考にいただき、ご不明な点はお問合せください。

## ● 施工のポイント

- ・ 薬液調製: 1,000㎡当り各剤を150~200Lの水に希釈して散布。  
 グリーンインプールDF・・・50g    ブラスコンM液剤・・・ 2000ml

## ● 散布のポイント

- ・ 種子形成前に散布する。
- ・ 茎葉部に散布する(草丈50cm以下までに実施)。
- ・ 種子発芽対策で継続的な散布によって、イネ科植生での管理を実践可能。

## ● 散布に関する注意事項

- ・ 雑草が大きくなり過ぎると効果が低減するので散布時期を逸しないように計画する。  
 (雑草発生後から草丈50cmまでに実施)
- ・ 水をはじき、ぬれの悪い雑草の防除を行う場合は散布液が葉に良く付着するよう展着剤の加用を推奨。
- ・ 動力散布機等を使用して雑草に均一に散布する。
- ・ 散布液を調製した容器、および散布器具は使用後できるだけ早く十分に水洗する。
- ・ 散布当日や翌日に強い降雨が予想される場合は散布を避ける。

# 適用雑草と使用方法

※抜粋



・登録番号：農林水産省登録第 24341号 ・人畜毒性：普通物  
 ・有効成分：ハロスルフロンメチル75.0% ・包装：200g×5

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ハロスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
日本芝	広葉雑草	芝生育初期～生育期 (雑草発生前～生育初期)	0.03～0.05g / m <sup>2</sup>	200～300ml / m <sup>2</sup>	3回以内	散布	3回以内

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ハロスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
樹木等	公園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地のり面、鉄道等	一年生及び多年生広葉雑草	雑草発生前	0.03～0.05g / m <sup>2</sup>	100～200ml / m <sup>2</sup>	3回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布	3回以内
			雑草発始期				植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布又は全面土壌散布	



・登録番号：農林水産省登録第 19569号 ・人畜毒性：普通物  
 ・有効成分：MCPAイソプロピルアミン塩40.0% ・包装：2ℓ×6 5ℓ×4

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	MCPAを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
日本芝	—	一年生広葉雑草、チドメグサ	春夏の雑草生育初期(芝生育期)	0.5～1.0ℓ / 10a	200ℓ / 10a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
		多年生広葉雑草		1～1.5ℓ / 10a				
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道等	一年生広葉雑草 多年生広葉雑草	雑草生育期(生育中期まで)	1～2ℓ / 10a	150～200ℓ / 10a	3回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布	3回以内

## ⚠ 効果・薬害等の注意 ※抜粋

- ①周辺の植物にかかると薬害を生じるので、散布の際は芝生の中や付近にある草花や花木、畑作物にかからないようその付近での散布はさけること。(グリーンインパルDF)
- ②農作物や有用植物に散布液がかかると薬害が生じることがあるので、散布に際しては飛散してかからないように注意すること。(ブラストンM液剤)
- ③散布液を調製した容器及び本剤の散布に用いた器具類は、使用後直ちに洗浄し、他の用途に使用する場合は薬害の原因にならないように注意すること。

## ⚠ 安全使用上の注意 ※抜粋

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- ①誤飲、誤食などのないよう注意すること。
- ②本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- ③公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- ④使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管すること。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

- ①水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- ②使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

お問合せ先



日産化学株式会社

農業化学品事業部 緑化営業部  
 TEL : 03-4463-8290  
 MAIL : enq\_agri@nissanchem.co.jp

日産化学ホームページ  
 アグロネット

